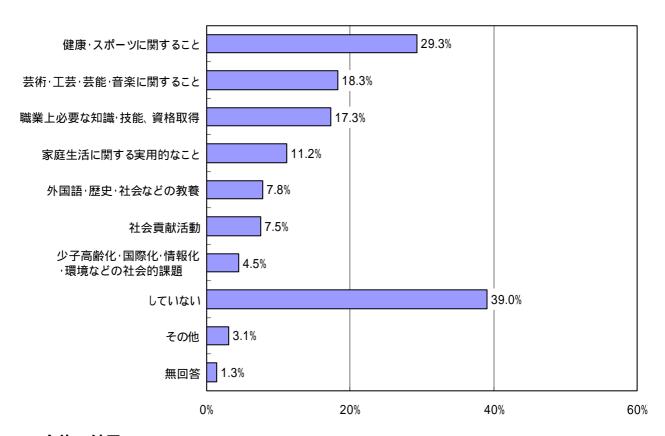
テーマ1 生涯学習について

現在行っている生涯学習の分野(複数回答)

問1 あなたは、いま何かに取り組んで(学んだり、活動したりして)いますか。次の中からあてはまるものにいくつでも をつけてください。

(N = 4.832)



(全体の結果)

「健康・スポーツに関すること」が最も多く 29.3%、次いで「芸術・工芸・芸能・音楽に関すること」が 18.3%、「職業上必要な知識・技能、資格取得」が 17.3%であったが、「していない」も 39.0% となっている。

(男女別の結果)

男女とも「健康・スポーツに関すること」が最も多かったが、男性が 34.6%と女性の 25.8%を 8.8 ポイント上回った。

(年代別の結果)

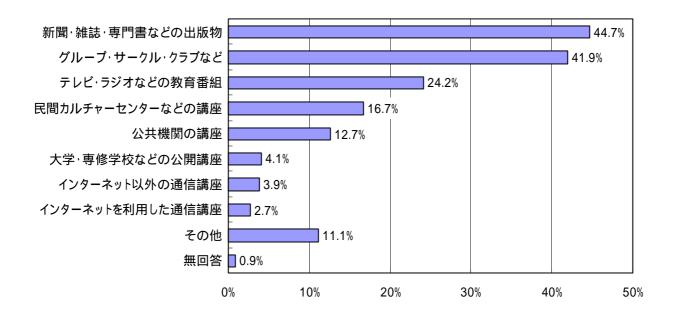
20~30歳代は「職業上必要な知識・技能、資格取得」、40歳以上は「健康・スポーツに関すること」が最も多かった。

現在行っている生涯学習の分野として「健康・スポーツに関すること」と答えた人が最も 多く 29.3%

生涯学習の方法(複数回答)

<u>問1 - 1</u> あなたは、どのような方法で、取り組んで(学んだり、活動したりして)いますか。次の中からあてはまるものにいくつでも をつけてください。

(N = 2,881)



(全体の結果)

「新聞・雑誌・専門書などの出版物」が最も多く 44.7%、次いで「グループ・サークル・クラブなど」が 41.9%、「テレビ・ラジオなどの教育番組」が 24.2%であった。

(男女別の結果)

男性は「新聞・雑誌・専門書などの出版物」、女性は「グループ・サークル・クラブなど」が最も多かった。

(年代別の結果)

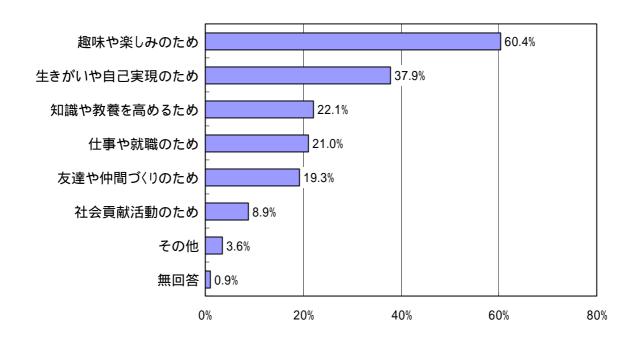
 $20 \sim 40$ 歳代は「新聞・雑誌・専門書などの出版物」、50 歳代以上は「グループ・サークル・クラブなど」が多かった。

生涯学習の方法として「新聞・雑誌・専門書などの出版物」と答えた人が最も多く44.7%

生涯学習の目的(複数回答)

<u>問1 - 2</u> あなたは、どのような目的で、学んだり、活動したりしていますか。次の中からあてはまるものに2つまでをつけてください。

(N = 2,811)



(全体の結果)

「趣味や楽しみのため」が最も多く 60.4%、次いで「生きがいや自己実現のため」が 37.9%、「知識や教養を高めるため」が 22.1%であった。

(男女別の結果)

男女とも「趣味や楽しみのため」が最も多かったが、女性が 62.5%と男性の 57.4%を 5.1 ポイント上回った。

(年代別の結果)

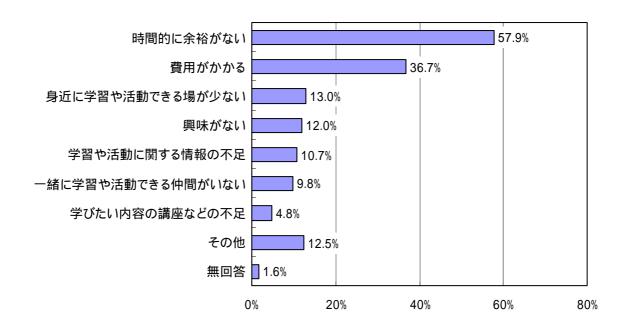
各年代とも「趣味や楽しみのため」が最も多かった。第2位の項目として、20~30歳代は「仕事や就職のため」、40歳以上は「生きがいや自己実現のため」であった。

生涯学習の目的として「趣味や楽しみのため」と答えた人が最も多く60.4%

現在生涯学習を行っていない理由(複数回答)

<u>問1-3</u> あなたが、学んだり、活動したりしていない(できない)理由は何ですか。次の中から あてはまるものに2つまで をつけてください。

(N = 1,886)



(全体の結果)

「時間的に余裕がない」が最も多く57.9%、次いで「費用がかかる」が36.7%であった。

(男女別の結果)

男女とも「時間的に余裕がない」が最も多く、男性は6割を超えた。第2位の項目としては、男女とも「費用がかかる」であったが、女性が42.7%と男性の26.3%を16.4ポイント上回った。

(年代別の結果)

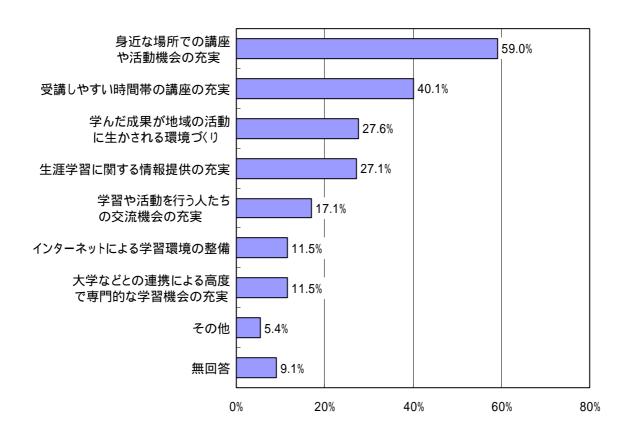
20~60歳代は「時間的に余裕がない」が最も多く、40歳代では7割を超えた。70歳以上は「その他」が多くなっており、その内容としては「健康上の理由」が多かった。

生涯学習を行っていない理由として「時間的に余裕がない」と答えた人が最も多く 57.9%

生涯学習を行う環境に対する意向(複数回答)

問2 学びやすい、又は活動しやすい環境を整えるために、あなたは、今後、何が必要だと考えますか。次の中からあてはまるものにいくつでも をつけてください。

(N = 4.832)



(全体の結果)

「身近な場所での講座や活動機会の充実」が最も多く 59.0%、次いで「受講しやすい時間帯の講座の充実」が 40.1% であった。

(男女別の結果)

男女とも「身近な場所での講座や活動機会の充実」が最も多かったが、女性が63.6%と男性の52.4%を11.2 ポイント上回った。

(年代別の結果)

各年代とも「身近な場所での講座や活動機会の充実」が最も多く、40~50歳代では6割を超える。

生涯学習を行う環境として「身近な場所での講座や活動機会の充実」と答えた人が最も多く 59.0%